

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成25年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/10

- 大般若会併大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29

- 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16

- 京浜地区檀信徒棚経
- ※7/28~7/29(一泊二日)
- 第32回子供禅の集い

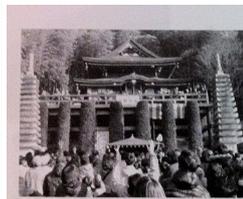
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- ※10/19檀信徒参拝研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日
- 梅花講・琴教室・華道教室
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催
- 宗務所執務日は月水金曜日

除夜会、大節分会報告



↑ 本年は日曜日にも当たり多数の方が見られました ↑
スリランカ僧2名のほか福田達夫議員、中曽根弘文議員令夫人真理子さん、サンコー寺本社長、赤鬼青鬼も豆撒き



「節分」
2月3日、吉井町の仁叟寺で恒例の大節分会が行われた。仁叟寺は室町時代に創建された古寺。今年は大節分会は日曜日で、市内外から約1,500人の人出で賑わった。仁叟寺の大節分会では福豆やもち、温泉卵などが当たるカラライホルのほか、「開席ライメン」が投げられることが話題になっている。「嵐」に裏はれるものと、20年ほど前から始まる、今では「空飛ぶライメン」として節分会の象徴となった。集まった人々は歴史のあるお寺で、一風変わった季節の風物を楽しんでいた。

ライメンが飛び交う仁叟寺

→ 青鬼も登場



↑ 商工たかさき2月号に記事が掲載されました (贈 伊橋国幹氏)

厳寒の大晦日に行われました除夜会では、電飾を蝋燭に変え幻想的な雰囲気の中、開催。また本年は日曜日にも当たり、多数の方々が参詣に訪れて下さいました大節分会。スリランカ僧2名のほか、地元代議士の福田達夫氏、中曽根弘文氏令夫人真理子さん、サンコー寺本欣一治社長を来賓に迎え、文殊祈禱の後に豆撒き執り行われました。今年は恒例の赤鬼のほか青鬼も登場。ちびっこ節分には子供さんや親子連れが列をなし、露天商もたち、多数の方々に伝統の行事である節分会をつとめる事が出来ました。



総代世話人さんをはじめ関係各位にはお世話になりました。有難うございました。

← 除夜会開始前の会議
幻想的な蝋燭の灯り →



龍源寺参道・駐車場修復工事開始

役員会でも懸案事項の一つでありました龍源寺参道及び駐車場の修復工事が、いよいよ今年度より始まります。以前より、参道の老朽化が指摘されておりました。また駐車場は降雨等により土砂が流入して来ることもあり、その修復工事を考えておりました。

今回、良きご縁を頂戴し、地元吉井町多比良の石匠多比良様（篠崎正道社長）より、その工事の大半を、当山に御寄進いただいたとの申し出がございました。早速役員会に提案し、快諾を受け、今春より工事が開始となります。なお、石匠多比良様は、龍源寺十三重石寶塔も手掛けられ、その卓越した技術を以て真摯に仕事をされております。

工事は、お盆までには目途がつくものと思われませんが、その間、法事や墓参等で当寺に来る際にご不便を掛けることも考えられます。宜しくご理解の程、お願い申し上げます。

また、役員会の席上にて、当工事に掛かる費用は、檀信徒のご寄進に頼らずに当山にて責任を以て当たらせていただこうと思っております。4年前に開眼会法要が営まれましたが、本尊様他諸仏像修復の際に、御寄進を仰ぎましたので、今

↓龍源寺駐車場



回の工事は、財務的に厳しいですが御寄進を仰がずに進めたく思っております。勿論、篤志のお心がある方のご協力は随時受け付けておりますが、その点も、檀信徒各位に於かれましては、是非ご承知おきいただきたく、茲にご報告申し上げます。



↑龍源寺参道出入口①



↑龍源寺参道出入口②

龍源寺・仁叟寺紹介DVD完成

龍源寺及び仁叟寺の紹介DVDが昨年秋に、約2年間の時間を掛け、完成いたしました。既に檀信徒の皆様方には、昨年10月に、特派布教師巡回法話会、導師として曹洞宗群馬県14教区長で全林寺御住職・田川義昭老師をお迎えして修行いたしました龍源寺十三重石寶塔開眼会法要、檀信徒臨時総会の記念品として頒布しておりますので、ご存知と思われれます。

当DVDは、住職の友人であり、昨年、蚕影山例祭及び大施食会法要に講師としてご講演いただきました、スティックアンドラダー社（東京）の村上邦久社長を中心に作成されました。氏は、除夜会・大節分会・大般若大施食会・花まつり・子供禅の集いといった仁叟寺の各年間行事にも足繁く通い、かつ春夏秋冬の記録を収めております。本編20分程の映像となっておりますので、是非一度ご覧下さい。

なお、龍源寺の御本寺で副住職を務めさせていただいております仁叟寺（神保）の紹介DVDも併せて完成いたしました。龍源寺及び仁叟寺紹介DVDは、一枚500円で頒布しております。ご希望の方は、当山までお問い合わせ下さい。



↑龍源寺及び仁叟寺紹介DVD

墓地の新築・改修は、先ず菩提寺にご相談下さい

龍源寺に墓所のある方は勿論、他の地域に墓所を構える方に於かれましても、檀信徒の皆様方の墓地の新築及び改修等は、必ず菩提寺迄ご連絡下さい。龍源寺墓地には規約もあり、その旨明記されております。開眼会のほか、工事中の遺骨の預かり等も当山でしますので、業者さんへの連絡の前に当山迄ご連絡をお願いします。

また、墓地の補修や修復等を、法外な値段で直接施主家に提案する業者もあるようです。出来れば墓石を建立された業者や、ほか、しっかりと信頼出来る業者さんも多数おられますので、当山よりご紹介いたします。それほど多くの機会もない工事ですので、慎重かつ丁寧に、菩提寺とよく相談し、行って下さい。



總和会関東大会群馬大会が開催されます



↑ 2月に開かれた總和会関東理事会にて挨拶をする仁叟寺住職

来たる6月6日（木）～7日（金）に掛けて、第58回總和会関東大会群馬大会が、渋川市ホテル天坊において開催されます。当日は約400名程の山梨県を含めた関東地区一都七県のご寺院様が集い、研修会が開かれます。

仁叟寺住職が、群馬県總和会会長を務めており、今回の大会は群馬県が当番県であり、同大会の主催代表者として任に当たっております。また、總和会関東一都七県の代表に昨年より就任し、関東總和会理事長を務めさせていただいております。

なお、總和会とは、大本山總持寺を護持する曹洞宗宗侶の会であり、群馬県内の会員数は200名程です。当日までは檀務等に多少影響が出る事もあるかと思いますが、ご容赦のほど、お願い申し上げます。

群馬県曹洞宗青年会創立50周年大授戒会記念 大禪師猯下御親筆「雪月花」記念碑建立開眼

前号の寺報でも紹介の通り、昨年10月に、群馬県曹洞宗青年会主催の創立50周年記念事業の一環として、大本山總持寺より江川辰三大禪師猯下を戒師にお迎えし、一週間掛けての大授戒会が仁叟寺を戒場に修行されました。戒弟は69名参加され、盛会裏に無事圓成する事が出来ました。

大授戒会を記念し、大本山總持寺江川禪師猯下御親筆の「雪月花」の記念碑が、仁叟寺境内に建立されました。開眼会法要は、昨年12月28日（金）に行われました。仁叟寺住職が導師を勤め、当山住職、青年会からは山端耕之会長始め大倉副会長、山内事務局長ほか会員の随喜をいただき、無事開眼会法要を修行する事が出来ました。



← 十二月に行われた開眼会法要



平成24年度下半期御寄附者一覧（敬称略）

寄進品目名	爲	地域	施主名
十三重石寶塔開眼供養	白田家先祖代々菩提供養	松田	白田 實
全	白田家先祖代々菩提供養	松田	白田幹男
新米澤山	白田家先祖代々菩提供養	松田	白田幹男
龍源寺DVD	龍源寺総代長	松田	出牛裕一
全	龍源寺総代人	松田	白田 博
全	龍源寺総代人	矢田	木村照夫
櫨製前机	金田家墓石塔開眼会供養	下長根	金田 浩
全	田端家墓石塔開眼会供養	多比良	田端勝秋
櫨製木魚倍置臺	龍泰院三回忌菩提供養	多胡	田中道教
福壽草・水仙植栽	田端家先祖代々菩提供養	多比良	田端米治

御寄進、どうもありがとうございました 合

平成25年度龍源寺総代人世話人一覧（敬称略）

総代長	松田	出牛裕一	役員	多胡	※田中道教
総代人	松田	白田 博	全	多胡	※神部 靖
全	矢田	木村照夫	全	松田	※出牛 均
顧問	多胡	宇佐美源吾	全	松田	※杉田 彰
全	矢田	小林 茂	全	矢田	八木紳雄
役員	多比良	田端米治	全	矢田	※八木みさ江

上記の表が、平成25年度龍源寺総代世話人の方々です。宜しく願い申し上げます。また、※印の5人が新任となります。宜しく願いします。また、前任者の皆様方、お疲れ様でした。

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

昨年秋に臨時総会を開き、総代人の就任退任が諒解されました。また、曹洞宗の特派布教師巡回による法話会、完成いたしました十三重石寶塔の開眼会法要も、その際に務める事が出来ました。その十三重石寶塔の功德主である白田實翁、開眼会法要が終わり約2ヶ月後の昨冬に、残念ながらご逝去されました。また、前総代人・田端良作翁はじめ当山にご縁の深い方が相次いで浄土へ旅立たれました。茲に改めましてご冥福を祈念申し上げます。（龍）

